

**海老名市立東柏ヶ谷小学校 学校運営協議会 議事録**  
(令和4年度 第4回)

- 1 日時 令和4年9月5日(月) 15:30～
- 2 場所 海老名市立東柏ヶ谷小学校 ランチルーム
- 3 出席委員 芳賀敬子委員長, 橋本絵美里副委員長, 佐藤充明副委員長,  
海野望委員, 長井徹委員, 小山内清潤委員, 柳下泰介委員,  
二見吉男委員, 瀬戸口壮委員, 小池一美委員, 守谷美子委員,  
佐藤孝男委員, 工藤真委員, 小林丈記校長

4 会議の内容

(1) 小話タイム テーマ「市民レクリエーションでどんなことをしたい?どんな風にやりたい?」

(2) はじめに(学校運営協議会委員長)

芳賀委員長: 2学期大きなけがもなく始まることができてよかった。9月1日は防災の日だった。台風情報もある。「備えあれば患いなし」を感じている。コロナは終息してはいないが、皆さんが元気に過ごすことができればよい。

(3) 学校長より

小林校長: 2学期を元気にスタートすることができた。夏休み中にけがや事故の報告がなかった。1学期は「よき習慣を身につける」がテーマだった。2学期は「思いやりをもつ」をテーマにしていく。2学期は多くの行事がある。子どもたちの成長により機会がたくさんある。行事を通して、子どもたちの思いやりの心を育てたい。授業研究については、今年度も道徳科の授業を校内で研究している。2学期もよろしくお願ひします。

(4) 防災・防犯について

①避難所開設運営訓練の実施報告  
(課題)

二見委員: 人が集まらない。休みの日のほうが人の集まりはよい。

柳下委員: 打ち合わせの時点で、役員のみという話があった。

市の危機管理課との連携には課題を感じた。受付リストや検温のシステムなど。学校との連携の中で内容の細部について話し合って決めることができたのは成果だと感じている。消防団(第8分団)には告知

をしていただいたが、役員のみで開催ということで人の集まりがよくなかった。

長井委員：回覧板での告知をしたときがあった。

できたらもう1回くらい説明を受ける機会があればよいと感じた。コロナに感染したときの人の導線に関して、さらに共通理解が必要。「平日」開催というところで人の集まり具合に寂しさを感じた。

小山内委員：受付など（事務的な手続き）の人の流れが曖昧だった。想定がしにくい。人の導線に階段があり、どのように流せばいいのかを質問したが、明瞭な回答がなかった。市との連携がさらに必要だと感じた。

柳下委員：学校側はどうか。どのように感じたかを共有してほしい。

小林校長：組織的な力を感じた。各自治会ではなく、全体でつながりを感じられたことは大変よかった。子どもたちにとっての防災教育の場になればいい。スケジュールの見直しをする必要がある。

## ②学校の取り組みの現状について共有

小林校長：学校では海老名市共通の防災教育に関する教材を使用して、自分の命を自分で守るための教育を行っている。また、防災（防犯）教育に関する年間計画を立て、子どもたちはもちろん、学校としてどのような行動を取ったり、体制を整えたりするかを訓練する機会を設けている。けむりハウス、救助袋訓練の実施について、消防と連携を取ってきたが、設備を管理している会社と今後連携する予定。その訓練に関する取り組みについては、今後検討する必要がある。

## ③【協議】学校の取り組みで、子どもたちの安全を確保するよりよい取り組みとは？

工藤委員：子どもたちが危機管理課の方の話聞ける機会があるとよい。安全マップに地震のときに危ない場所を確認するとよい。

奥田教頭：自分の命は自分で守ることができる子どもたちを育てることが大切である。通学路の安全について、適宜確認をしていくことが必要である。

尾崎総括教諭：危機管理課の方の話聞く機会をつくる。子どもたちに備蓄倉庫の中を見せ、どういったものが保管されているかを確認する機会が必要。

橋本副委員長：避難所開設訓練に保護者と子どもと一緒に参加する。避難所の仕組みをたくさんの方が知っておく必要がある。

## (5) 柏ヶ谷中学校区学校運営協議会について

### ①趣旨説明

小林校長：9月2日（金）に柏ヶ谷中学校で行われた。柏ヶ谷中学校、柏ヶ

谷小学校、杉本小学校、そして本校の4校で重点テーマ（目標）を共有し、取り組みを進めていくことになる。

東教諭：市教委教育支援課作成のパワーポイントを使用し、以下4点について説明した。

- ・コミュニティ・スクール制度（学校運営協議会）について
- ・中学校区学校運営協議会の必要性について
- ・昨年度の会議（試行）と先日行われた第1回の会議について
- ・柏ヶ谷中学校区の重点目標について

## ②参加した方々より

芳賀委員長：重点目標が「『つながる』⇔『つなげる』柏中学区」に決定した。本校での取り組みの視点にして、どのようなことが協働できるかを考えていきたい。活発に意見交換がされていてよかった。

橋本副委員長：他校の方と話をすると新たな視点に気づかされる。社会人に必要な力は何か」という話題に対して、「自分で考えることができる人」という話が挙がった。そこから「主体性」が重要なのではないかという話に至った。

長井委員：市教委が提示した8つの項目（つながり、あいさつ、自己肯定感、学力、体力、安全・防災、環境・行事）で話し合った。重点目標がまとまってよかった。

海野委員：自分だけでなく、他人の考えも聞きながら時間を過ごしていた。いろいろな角度から話が広がったことがとてもよかったと思う。

工藤委員：自分にはない考え方を聞くことができよかった。どのチームも自分たちで生み出したテーマが多く出ていて、視野が広がったような気がした。

## ③柏ヶ谷中学校区学校運営協議会の目標

東教諭：参加した各4校の学校運営協議会の委員との協議を経て、

「つなげる」⇔「つながる」柏中学区」という重点テーマ（目標）

を掲げたことを確認。今後これを共有し、各小中学校の学校運営協議会で取り組みを推進していくことを確認した。

## ④【協議】東柏ヶ谷小学校としてできること

東教諭：東柏ヶ谷小学校の地域連携目標である「地域に愛着をもち、主体的に（あいさつ等）行動できる人」との重なりに注目して、「今できていること（現状）」「これから何ができそうか（発展・成長）」「そしてどのように広がるか（学校・地域・家庭、そして中学校区内と）」の3つの視点でグループ協議を行う。

→12月5日の第5回学校運営協議会でもう一度話題にすることとした。今回の協議を精査し、より深めていくことを周知した。

**(6) その他：**

橋本副委員長：えびなっ子スクールについて

3年前から夏のサマースクールで行っていたものを、学習や体験の機会均等の視点から、授業内で行うこととしている。日程とプログラムが決まった。応援団と学校で連携していく。PTAにサポートをお願いしている。

海野委員：子育て交流会（9/28（水））について

人数を制限して実施する。

橋本副委員長：海老名市ライフ・スタディーサポート事業について

7月の中旬から中学生の学習支援を火曜日、金曜日に行っている。現在7名。1か月経過して流れが定まってきた。協力してくれる地域の方がいれば連絡してほしい。

東教諭：全国コミュニティ・スクール研究大会について

全国コミュニティ・スクールだより（No. 18）の配付と共有。  
大分県玖珠町で行われる大会に関する情報を共有。

海野委員：学校保健研究協議会について

自治会から

二見委員：（4丁目）7月・8月に開催予定だった行事が中止になったので、縁日を自治会館で開催予定。野菜の販売もする予定。

柳下委員：（5丁目）自治体ごとの地区防災計画を練っているところ。出来上がり次第共有する。

長井委員：（6丁目）9/17（土）敬老の日、85歳以上にお土産を配る予定。子どもたちにも何かしてあげたいと考えており、11月に芋ほり大会を計画している。

小山内委員：（ルアンジュさがみ野）9/10（土）ルアンジュ夏祭りを開催する予定。子どもたちのダンスに大人の盆踊りあり。手持ち花火の企画も考えている。

**(7) おわりに（学校運営協議会副委員長）**

佐藤副委員長：防災・防犯について、また中学校区の学校運営協議会について具体的な話ができてよかった。次回もよろしく申し上げます。

次回の学校運営協議会は、令和4年12月5日（月）15：30から開催予定。